



天勝の舞台姿「夕涼み」

(河合勝コレクション)

【第一部】
映画『瀧の白糸』
1933年作品
監督／溝口健二
主演／入江たか子
岡田時彦

弁士／斎藤裕子
楽士／楽団カラード・
モノトーン

【第二部】
松旭齋正恵による
『日本の奇術』

よみがえる天勝の世界 無声映画『瀧の白糸』と奇術

協力 マツダ映画社

2016
12/24(土)

● 開場／12時30分 ● 開演／13時

料金 前売り 3000円・当日 3500円
高校生以下 1500円 (全席自由席)

会場 江戸東京博物館 ホール

★JR 総武線

両国駅西口徒歩3分

★都営地下鉄大江戸線

両国駅 A4・A3 出口 徒歩1分

★<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>



主催：マジックネットワーク (MN7)・斎藤組 (活動弁士)

<http://magicnetwork7.web.fc2.com/event/shiraito2016.htm>



楽団 カラード・モノトーン

楽長 湯浅ジョウイチ

フルート 鈴木真紀子 太鼓 足立克巳 他

1994年に結成された無声映画の伴奏音楽（生演奏）を担当する西洋楽器と和楽器とを混成した専属合奏団。ピアノ、フルート、ヴァイオリン、太鼓、パーカッション、三味線、ギター等によって構成。日本独特の活動写真の音楽を地道に研究し、無声映画全盛期における伴奏音楽の再現に取り組む一方で、映画音楽における新機軸を打ち出し、好評を博している。



松旭齋正恵

松旭齋正恵は、日本奇術協会名誉会長・松旭齋広子（黄綬褒章受賞）と初代松旭齋天勝一座の後見長・山崎金之助の愛娘として生まれ、幼少のころは二代目松旭齋天勝一座の子役として活躍。青春時代は日活映画社ダンスィングチームに所属し映画・舞台等に活躍。昭和43年に松旭齋広子グランドマジックショー一行に帰属し、世界を一世風靡した松旭齋天勝の芸道を継承し、日本独自の奇術・和妻の保存、育成、伝承をし、昭和47年に日本の奇術界にデビューし芸術祭優秀賞受賞に輝いた。そして、現在に至る。



弁士 斎藤裕子

劇団ひまわりの全国公演や劇団影法師の海外公演、水芸（和妻）のアシスタントなどを経て2001年から活動弁士としてスタートをきる。インドやエストニアなどでの海外公演から、米子映画事変でアニメ『天元突破グレンラガン』『放課後のプレアデス』に活弁を付けるなど無声映画以外の映像にも着手。七色の声を活かして、レパートリーは日本のチャンバラから洋画メロドラマまで多数。澤登翠門下。

■ブログ→「活動弁士は七変化」

<http://ameblo.jp/bensi/>

よみがえる天勝の世界 無声映画『瀧の白糸』と奇術

明治から昭和のはじめにかけて一世を風靡した女性奇術師、初代松旭齋天勝（1886-1944）。

天性の美貌と才気で絶大な人気を誇った天勝は、一座を率いてレビューや演劇の要素を取り入れた大規模な興行を行い、「魔術の女王」とうたわれた。

本公演では、二部構成で魅力に満ちた天勝の世界に迫る。

【第一部】

映画『瀧の白糸』1933年作品 98分

天勝が自身の十八番である水芸を、主演の入江たか子に指導している。

原作 泉鏡花

監督 溝口健二

主演 入江たか子 岡田時彦

一座の花形である水芸の太夫・瀧の白糸と、法律を学ぶ青年・村越欣也の恋物語である本作は、巨匠・溝口健二の無声映画期における代表作であり、映画史に残る名作である。

活動弁士の語りと楽士の生演奏での上映。

活弁 斎藤裕子

音楽 楽団カラード・モノトーン

映写 マツダ映画社

休憩 15分

【第二部】

『日本の奇術』出演 松旭齋正恵

天勝の芸道を受け継ぐ松旭齋正恵による、華麗なステージ奇術をお贈りする。

和妻、手妻と呼ばれた日本の手品は、いま私たち一般人が思う「マジック」とは似て非なるもの。

優美でありかつ豪快。繊細でありかつ大胆。

いま見て新しい、日本の宝である。

後半には、貴重な天勝本人による実演映像の紹介と、松旭齋正恵 & 斎藤裕子による「師弟トーク」も予定している。（終演予定 16時）

**「活弁付き無声映画」と「奇術」という
二つの「生」のパフォーマンスを通じて、
魔術の女王・天勝の姿がよま、よみがえる！**

※メール or 電話で予約の後、チケット料金はゆうちょ銀行の口座へ振り込み願います。（ゆうちょ口座からの振り込みなら手数料無料）

振込先：ゆうちょ銀行【店名】〇一八 普通口座 9257315

名義：マジックネットワークセブン